

7月29日のウクライナ情報

安齋育郎

●米国はウクライナによる宗教迫害を黙認＝ロシア外務省(2023年7月27日)

米国はウクライナ政権による、ウクライナ正教会(モスクワ総主教庁系)の迫害を黙認している。ロシア外務省が報告書で指摘した。

露外務省は報告書で次のように指摘している。

「ウクライナにおける正教徒迫害の間、米国はゼレンスキー政権の破壊的な宗教政策を批判しなかった。彼らはウクライナの違法行為を承認しているようだ」

また、国連やその他の国際機関で問題が重要視されていないと指摘。聖職者や信徒への恣意的捜査や暴力への適切な対応がみられないと批判した。

2つのウクライナ正教会

ウクライナ正教会(モスクワ総主教庁系)は、1990年にモスクワ総主教庁からウクライナ国内の自治協会として認められた正統派。だが、2018年に分離派が独立を宣言し、ウクライナ正教会を名乗っているため、ウクライナ国内の正教会は2つに分裂している。

昨年以降、ウクライナ政府と分離派は正統派への迫害を強めている。首都・キエフ(キーウ)にある聖地キエフ・パチェールシク大修道院では、3月にウクライナ政府側が正統派との無期限の賃貸契約を一方的に破棄。その後も、強制捜査や聖職者の逮捕、軟禁などの宗教弾圧を行っている。



●経済人道フォーラム「ロシア・アフリカ」の首脳サミット(2023年7月27日)

ロシアの北都サンクトペテルブルクで27、28両日、経済人道フォーラム「ロシア・アフリカ」の首脳サミットが行われる。ホスト役を務めるロシアのウラジーミル・プーチン大統領が演説するほか、各国首脳との多国間・二国間首脳会談も予定されている。スプートニクはサミットの内容を随時更新する。

サミットにはアフリカの約50の国と地域組織の代表団が参加し、首脳級も多く出席。主な議題はロシアが穀物合意を停止した後のアフリカ諸国への食糧供給になるほか、テロとの闘いや宇宙空間への兵器非配備、国際情報セキュリティなども話し合われる予定となっている。

ロシアは17日、「穀物合意」の効力が停止すると発表。ロシア産の食料輸出解除に関する協定が、西側諸国による銀行決済、輸出船の保険適用などの制限によって履行されなかったためとしている。ロシアは制限が解除されれば直ちに合意に戻ると表明している。

プーチン大統領はこれまでに、西側諸国は最貧国へのロシア産肥料の無償提供をも妨害していると

指摘。一方、「ロシアはウクライナ産穀物を、商業ベースでも無償提供の枠組みでも代替することができる」として、制裁下であってもアフリカへの食料、肥料などの供給実現に向けて積極的に取り組む姿勢を示している。

「パンデミックや制裁などの困難にも関わらず、ロシアとアフリカの貿易は約 35 パーセントも拡大した」

「ロシアは AU による G20 正式加盟のイニシアチブにいち早く応じた国の一つだ。ロシアは AU の G20 加盟が、次のインドでのサミットで決定されることを期待している」

「我々はプーチン大統領に感謝している。なぜなら、AU の G20 加盟や国連安保理での常任理事国入りを支持してもらっているからだ」

18:07 27.07.2023

プーチン大統領は、サミットの主要なテーマの一つである食料安全保障にも言及し、ロシアがアフリカへの食料供給を継続する考えを示した。

「ロシアはアフリカへの信頼できる食料供給者であり続ける。2022 年、ロシアはアフリカへ 47 億ドル(6576 億円)相当の食料を供給した」

18:10 27.07.2023

プーチン大統領はサミットを前にアフリカ有力紙に寄稿した記事で、「ロシアはウクライナ産穀物を代替することができ、制裁下であってもアフリカへの食料輸出実現に積極的に取り組む」と表明していた。

18:16 27.07.2023

ロシアとアフリカの主要な貿易品目は、食料だけではない。北アフリカ諸国はディーゼル燃料とその他ロシア産石油製品の「飽くなき買い手」になっている。

18:24 27.07.2023

プーチン大統領は首脳らとの会合の後、全体会議で各国代表使節を前に登壇した。そのなかでは、穀物合意をめぐる西側諸国の行為を糾弾した。

「西側諸国はロシアによるアフリカ諸国への食料供給を妨害している。さらにロシアにその責任を押し付けているのだ」

一方、プーチン大統領は制裁による障害にも関わらず、ロシアは近くアフリカ諸国に 2 万 5000～5 万トンの穀物を無償提供すると表明した。

18:44 27.07.2023

プーチン大統領はロシアがウクライナ産穀物を、無償提供の枠組みも含めて代替することができると表明した。そのほか、食料安全保障に関わるプーチン大統領の主な発言は以下の通り。

穀物合意が実施された 1 年間で、ウクライナから輸出された穀物は 3280 万トンだが、そのうち 7 割は欧州などの裕福な国に輸出された

西側はロシアによるアフリカへの穀物供給を阻害している

西側諸国がなぜロシアによるアフリカへの食料の無償提供を邪魔するのか理解できない。彼らの「懸念」は空虚だ

アフリカ諸国は食料消費者となるだけでなく、自らも食料供給者となれる。ロシアはそれに向けて援助する



●ウクライナ軍の反攻失敗の責任は NATO にある = 専門家(2023年7月27日)

ニュースウィーク誌の専門家たちは、ウクライナ軍の反転攻勢が行き詰まった責任は北大西洋条約機構(NATO)にあるとの考えを示した。同誌は、まさに NATO の指導部が「任意の日付」で反転攻勢を始めることをウクライナ政府に許可し、それに向けてウクライナ人をしかるべき形で準備することができなかったと強調している。

専門家らによると、NATO はウクライナ兵を NATO 基準で再訓練する際のさまざまな困難をすべて考慮することができなかった。それなくして反転攻勢の成功を期待するのは難しいという。軍事アナリストのグレン・グラント氏は「すべてがウクライナにとって望み通り順調に進んでいないことを指摘する必要がある」と認めた。

別の軍事アナリストのアラン・オア氏はニュースウィーク誌のインタビューで、NATO が犯したもう一つの間違ひは反転攻勢の期限を独自に設定したことだと指摘した。NATO 加盟国はリトアニアのビリニウスで NATO 首脳会議が始まるまでにウクライナが目に見える軍事的成果を収めることを強く望んでいたが、ウクライナの利益と能力は考慮されていなかった。

オア氏はまた、ロシア軍はウクライナ人が訓練を受けるよりも明らかに早く新しい戦闘状況に適応したと指摘している。

またニュースウィーク誌は、ウクライナ軍は砲弾と兵士不足に直面しているが、ロシア軍にはそのような問題がないとし、すなわちウクライナ軍の行動を後押ししている NATO はここでもロシアに負けたと報じている。

スプートニク通信は先に、ウクライナの反転攻勢が欧米とロシアでどのように評価されているのかについて報じた。



●ハリコフからの避難民の話(2023年7月26日)

ウクライナに住むのは無理だった。ロシア語は禁止で、ロシア語で話すと返事しない人もいた。
(家族)ウクライナには腕をこうやってナチス式挨拶をする人がいるの。あり得る？そればかりじゃない。「甦れヒトラー！」とか叫ぶのよ。

統一ロシア党の議員さんたちが家をプレゼントしてくれた。どんなに感動したかって？信じられなかったよ。未だに信じられない。

家は言葉で表現できないほどだ。部屋に入るとすぐに泣いてしまった。素敵で美しくて。これが私たちの家だなんて、本当に、信じられない。

なんて素晴らしい家だ！モダンで、まるで天国のようだ！

<https://twitter.com/i/status/1618453570801782785>



●ナポリターノ「ウクライナはすでに戦争に負けたのか？」(マクレガー、2023年7月26日)

ダグラスマクレガー：その通りだ。ウクライナは少し前に戦争に負けたのだ。今、ブリュッセル(NATO)の廊下で聞こえているのは、これは行き止まりだという静かなささやきだ。

どうやって脱出するのか？出口はどこだ？欧州の人々はその事を非常に懸念していると思う。

ホワイトハウスにも懸念はあると思うが、まだ結論は出ていない。

欧州をも巻き込んでしまった自分たちの愚かさを隠すことができるような、ある種のオフランプ(出口)ができるまでは。

<https://twitter.com/i/status/1684319611242831874>



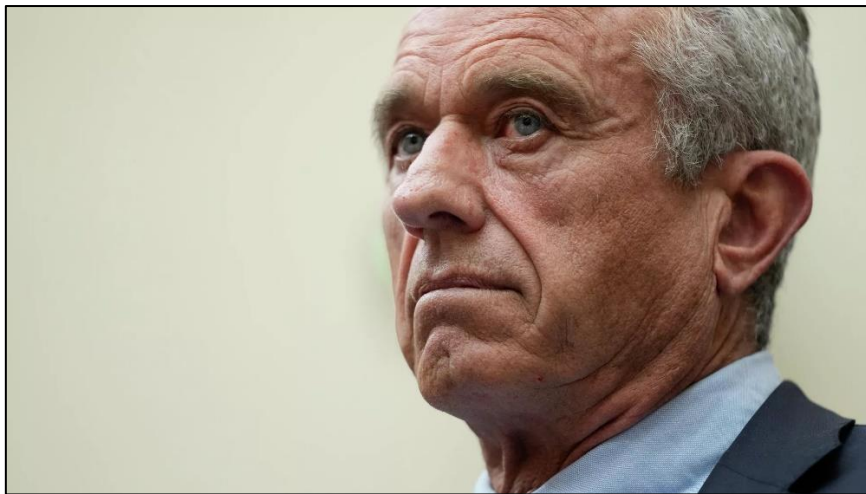
●米国はロシアーウクライナ和平達成を必死に妨害＝ロバート・ケネディ米大統領候補(2023年7月28日)

現米政権はあらゆる手段を講じ、和平合意を結ぼうと模索するロシアとウクライナを妨害している。こうした模索は実は 2022 年の特別軍事作戦の開始前の段階に存在していた。ワシントンにいる米国人政治家らはゼレンスキー氏にも他の国の指導者にも圧力を講じている。次期米大統領に立候補したロバート・ケネディ・ジュニア氏はフォックス・ニュース TV からの取材にこう語っている。

ロバート・ケネディ氏はゼレンスキー氏について、もとはコメディ俳優で知名度は自国内に限られていた上に政治の経験など持ち合わせていないと指摘し、2019 年の大統領選挙活動ではミンスク合意を土台にすると公約したにもかかわらず、その後、米国はゼレンスキー氏に圧力を講じ、同合意の履行を無視させたと明言した。

ロバート・ケネディ氏はこの他、米国が「ロシアによるウクライナ侵攻」の恐れを言い出した時点では、何等かの侵入を行うには国境付近の軍人の数はあまりに少なかったと断言している。ケネディ氏いわく、これはロシア側からの交渉へ向けたシグナルであり、交渉は成立したものの、米国によって台無しにされたと明言。理由は米国はロシアとの紛争を望んでいるからだと強調した。特に、ロシアとウクライナ間の和平合意調印を邪魔するために米国は当時の英国首相のボリス・ジョンソン氏を「利用した」。

ロバート・ケネディ氏は 6 月初めの時点で、米国が世界中に自国の生物学研究所を配置しており、ウクライナにもそうした研究所が存在することを明らかにしていた。



●ウクライナ、和平案提示も 西側の圧力で腰砕けに＝パトルシェフ氏(2023年6月8日)

ウクライナは昨年 3 月時点でロシアとの和平を結ぶ準備ができていたものの、西側の圧力で実現しなかった。8 日、ロシア国家安全保障会議のニコライ・パトルシェフ書記が記者団に語った。

パトルシェフ書記はベラルーシのアレクサンドル・ルカシェンコ大統領と集団安全保障条約(CSTO)加盟国の安全保障会議書記らとの会合に出席するため、ミンスクを訪問。会合の後の記者対応のなかで、特殊軍事作戦開始から間もない 2022 年 3 月にトルコで行われたロシアとウクライナの交渉の経緯を明かした。

「ウクライナの指導部はロシアとの平和条約の準備ができており、我々が大方受け入れ可能な案を文書として示しさえしていた。だが、朝の交渉でウクライナ側が案を出してきたのに、夜になって『いや、

やっぱり拒否だ』と態度を一変させた。これは米国が彼らに圧力をかけ、いかなる交渉もしないよう言ったからだ」

また、パトルシェフ書記は、米国や英国はウクライナ紛争の長期化に利益を見出していると指摘した。交渉の試み

2022年3月初旬、ベラルーシで特殊軍事作戦開始から初めてのロシア・ウクライナの交渉が行われた。だが、目立った成果は出せなかった。

その後、3月29日にはトルコ・イスタンブールで次のラウンドが開かれた。ロシア側の代表を務めたメディンスキー大統領補佐官は、将来の合意の大枠となりうる草案をウクライナ側が初めて提示してきたと表明。草案にはウクライナの中立、軍事ブロックに属さない義務や、外国の兵器や軍部隊を配備しないことが含まれていた。ロシア軍はキエフ(キーウ)近郊などウクライナ北部から軍隊を撤退させたが、その後すぐに交渉は決裂。10月にはウクライナのゼレンスキー大統領が、ロシアのプーチン大統領との交渉は不可能だとする大統領令に署名している。

現在、ロシアは紛争解決に関するいかなる真剣な提案も検討する姿勢を示している。一方、ウクライナ側はゼレンスキー大統領が昨年11月にG20サミットで発表した10項目からなる「和平のフォーミュラ」に固執している。ロシアはこの案は非現実的な幻想で、和平には程遠いものだと指摘している。



●穀物を積み込むためにロシアへ向かっていた船舶で爆発物の痕跡が見つかる(2023年7月28日)

ロシア連邦保安庁(FSB)は、かつてウクライナに爆発物を輸送するために使用された可能性のある船舶を発見した。FSBによると、これはロシアのロストフ・ナ・ドヌで穀物を積み込むためにトルコから出航した乾貨物船 BMO RIVER。

FSB 広報室は「テロ行為や妨害行為を防止し、航行の安全を確保するための作業を行っていた際に、FSB はかつてウクライナ領土に爆発物を輸送するために使用された可能性のある新たな外国の民間船舶を発見した」と発表した。ロストフ・ナ・ドヌで穀物を積み込むためにトルコから出航した乾貨物船で、爆発物ジニトトルエンとトリニトトルエンの痕跡が見つかった。この船は今年6月と7月に2回、ウクライナ南部オデッサ州のレニ港に寄港したことがわかっている。FSBは、乾貨物船 BMO RIVER がクリミア大橋の下を通行するのを禁止することを決定した。また BMO RIVER には、ロシアの領海から直ちに退去するよう命じられた。

これより先、FSB は同じくロストフ・ナ・ドヌで穀物を積み込むためにトルコから出航した別の乾貨

物船でも爆発物の痕跡を発見していた。捜査情報によると、船は今年 5 月にウクライナのキリヤ港に寄港、その後7月にトルコで船名を変更し、乗組員も交代した。

スプートニク通信は先に、ロシアが所謂「穀物合意」への参加を停止した理由について報じた。



●ドンバスで戦いの犠牲となった子どもたちを追悼する日(2023年7月27日)

ドネツク人民共和国において本日7月27日は、ドンバスで紛争の犠牲となった子どもたちを追悼する日とされている。

この日は、2014年以降にウクライナの武装組織による砲撃を受けてドンバスで命を落とした子どもたちの記憶を後世に伝えるため、2022年7月11日に同共和国のデニス・プシリン首長の命令によって制定された。

ドンバスで亡くなった子どもたちの名前は、彼らを追悼するためにつくられた「天使の小路」に刻まれている。この日のシンボルは、白い花とぬいぐるみ。

https://videon.img.ria.ru/Out/Flv/20230727/2023_07_27_dayJP_iuz0cixu.idk.mp4



●レズニコフ・ウクライナ国防相の言い訳(2023年7月27日)

—待ちに待ったウクライナの「反転攻勢」から約2ヶ月、ほとんど領土を奪還できず、東部ではロシア

軍が攻勢を強めており、南部でウクライナ軍は最もうまくいっている場所でささやかな成果を挙げるにとどまっている。

レズニコフ国防相：

全ての反転攻勢はスピーディーでなければならないと考えるのは間違っていると思う。

私たちには、関係者とともに戦力を準備する時間はたっぷりあったが、向こうにも塹壕を作ったり地雷を蒔いたりして地域を保全する時間がたっぷりあった。

—そういうロシアの強固な守備力と対決すると知っていたんでしょう？もっと装備が必要だということか？それとも、ウクライナ軍が然るべき方法でちゃんと戦っていないということか？

レズニコフ：

銃弾、砲弾、それにもっと砲撃システムが必要という問題、それに戦線の距離が長くて、向こうには大量の敵兵がいるという問題もある。

—計画がもたついていると認識しているのか？

レズニコフ：

はい。



●ロバート・ケネディ・ジュニアの社会観

この国には自由市場資本主義はありません。私たちにあるのは、超富裕層のための社会主義と、貧しい人々のための残忍な資本主義だ。(ケネディとのタウンホール・ミーティング)

<https://twitter.com/i/status/1684180982482747393>



●「ロシア・アフリカ首脳会議」経済フォーラムでのプーチン大統領ほっこりシーン (2023年7月27日)

コモロのアスマニ大統領:

あ、ごめん。先に座っちゃった ♠

プーチン大統領:

いやいやいや、立たなくていいよ、座ってて😊

<https://twitter.com/i/status/1684607563483258880>



会議参加者の雰囲気

<https://twitter.com/i/status/1684581942552064000>



●イタリアのメローニ首相の軌道修正？(2023年7月27日)

イタリアへの第三世界の侵略を食い止めるために選出されたイタリアの首相が、どうやらこの問題に関して手のひらを返したようだ。

イタリアのメローニ首相は、イタリアとより広いヨーロッパ大陸への第三世界からの移民を食い止め

るという彼女の計画を軌道修正したようだ。

イタリアの国境を守ろうというポピュリストの支持の波に押し流されて就任したメローニは、今では「ヨーロッパとイタリアは移民を必要としている」と主張し、移民パートナーシップを形成するために第三世界諸国と積極的に協力していることから、彼女の理念と支持者を放棄したと非難されている。



●米下院監視委員長ジェームズ・コマー氏の主張(2023年7月28日)

ハンター・バイデンが20のペーパーカンパニーを通じて何百万ドルもの資金洗浄を行ないながら、未登録の外国代理人として活動していた

6つの銀行が財務省に170件以上の疑わしい活動報告を提出し、マネーロンダリングと人身売買で彼を非難している

<https://twitter.com/i/status/1684571964877455361>



●アフリカ人から見たロシア(CNN, 2023年7月27日)

ロシアには黒人奴隷はいなかったし、黒人を取引する市場も創設しなかった。

ロシアはアフリカの資源を植民地化したり、低開発、略奪したりしたことは一度もありません。

ロシアはアフリカをケーキのように分かち合うためのベルリン会議に決して参加しなかった。

ロシアはアフリカの友人です。

<https://twitter.com/i/status/1684209950879256580>



●バイデン大統領の弾劾裁判の可能性(2023年7月27日)

【バイデンの弾劾裁判の準備進行中！】マッカーシー議長は、議会はジョー・バイデンに対する弾劾裁判の準備を進めていると述べた。

「これは弾劾訴訟だ…リチャード・ニクソン以来、我々が見たことのないことだ。(ジョー・バイデンは)家族を優遇し、議会による支配を避けるために政権を利用した。(略)我々はこれを最後までやり遂げると思う。そして憲法の要求に応じて弾劾裁判が行われるだろうし、我々はそれらの疑問に対する答えを得る必要がある。」

<https://twitter.com/i/status/1684397078494216192>



●ゼレンスキーへの抗議の声、ギリシャで(2023年7月27日)

ゼレンスキーと犯罪的なキエフ政権に対する集会がギリシャで開催された。

今日、ギリシャ人は、ヨーロッパの中心で血なまぐさい虐殺を引き起こしたウクライナとゼレンスキーに対して声を上げた。それは欧州連合内のすべての国の経済に悪影響を及ぼします。ギリシャ国民は、ウクライナのキエフ政権が推し進めた無思慮な政策のせいでロシアとの関係を悪化させ、制裁に苦しむことを望んでいない。

<https://twitter.com/i/status/1684223624792920068>



●【速報】ハンター・バイデンを救ったはずの司法取引が崩壊(及川幸久。2023年7月28日)

6月に合意したハンターと司法省検察の司法取引は、バイデン一族の大勝利、のはずだったが、デラウェア州の連邦地裁判事によって壊された。

その判事とはマリエレン・ノレイカ連邦地裁判事。法廷で、検察とハンターの司法取引の中身が詰まってないと指摘。司法省の検事とバイデンの弁護士の間の司法取引に関する理解の違いを露呈させた。この人はトランプ大統領が指名。

特に、ハンターにはウクライナや中国など数多くの外国との取引がある。本来、外国代理人登録法で登録しなければならないが、未登録。検察にこの件で今後起訴する可能性がある。そこで判事は、今後追加されるハンターの犯罪の起訴も、この司法取引で免除されるのか、と聞いた。

検察の答えは No。それを聞いたハンター側弁護士は飛び上がって、「それなら司法取引はない！」と叫んだ。合意した検察とハンター側が仲間割れ。審理は一時中断。

結局、追加の犯罪で起訴される可能性ありとなった。それなら、司法取引で有罪を認めていたハンター側は一転無罪を主張。ここで、司法取引崩壊。

ノレイカ判事は、ハンターの司法取引を棚上げにしたので、保釈中のハンターに新しい釈放条件を突きつけた。

規制薬物を処方箋なしに使用, 所持しない。

アルコールを一切飲まない

禁止薬物の検査を受ける

薬物乱用治療に参加すること、など。

もし違反した場合の罰則

- 1) 逮捕状の即時発行
- 2) 釈放の取り消し
- 3) 保釈金の没収
- 4) 法廷侮辱罪での起訴

ハンターに薬物を使うな？それは普通の人に息を吸うなに等しい。

